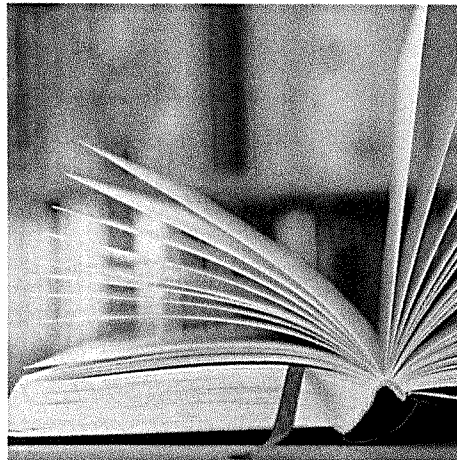


「場」をつくと 学びたくなる!? 学生×図書館の企み

徳島大学附属図書館

学術情報部 図書情報課 総務係 佐々木 奈三江



SPODフォーラム2017 シンポジウム
「学生が主体的に考え、自ら学ぶにつなげる教育と学習支援」
2017年8月24日(木) 15:30~17:30

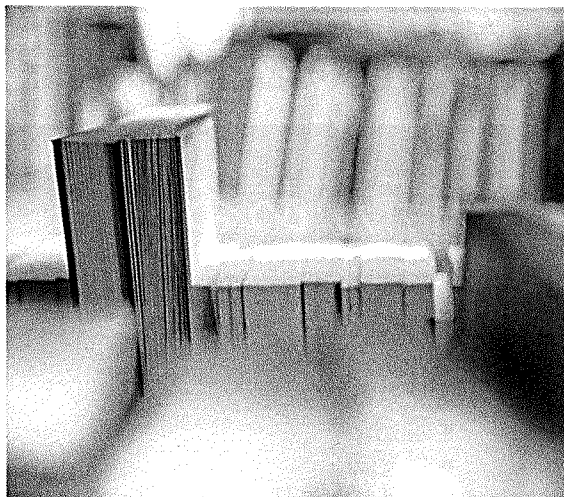
目次

- はじめに
- ラーニング・コモンズ～大学図書館をめぐる変化
- 徳島大学の学生協働
- 事例：全力で協働してみた～「全力卒論前夜祭」
- 「好き」な学びを見つけられていますか？～本当のアクティブ・ラーニング私見
- ラーニング・コモンズをハコモノにしないために
- 悩める図書館職員
- 参考文献

2

はじめに

- ・自己紹介
- ・なぜ図書館職員が
発表を？



3

自己紹介

- 徳島大学附属図書館 総務係長
- 係長は3箇所目 利用支援係長 → 蔵本利用支援係長 → 総務係長
- 主に利用者サービス系
- 主に講習会、情報リテラシー系
- 知識より、体当たり系
 - 図書館公式キャラクターの決定
 - ラーニング・コモンズ運用
 - 学生FDグループとのコラボ（スタディーレスキューWeeeeeekK）
 - 学生協働グループの立ち上げ
 - 新しい授業への参画（iPad, ビブリオバトル）
 - ビブリオバトル普及委員会理事
 -などなど

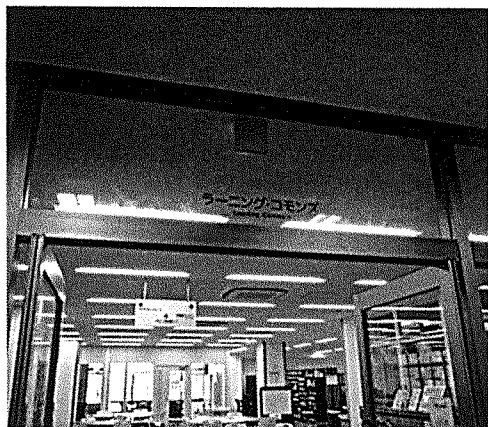
ポイントその1
「ラーニング・コモンズ」

ポイントその2
「学生協働」

4

ラーニング・コモンズ～大学図書館をめぐる変化

- ・ラーニング・コモンズとは
- ・ラーニング・コモンズの機能
～徳大の場合



5

ラーニング・コモンズの機能～徳大の場合

- 徳島大学附属図書館
 - 「自由にディスカッションしたり、コミュニケーションを図ったりしながら自主的・創造的に学習に取り組める場所」をコンセプトとする
 - 2012年1月運用開始⁽²⁾
 - 2015年1月リニューアル⁽³⁾
 - グループ学習が容易な什器を用意
 - ディスカッションしながら使える！
 - 図書館資料を使いながら勉強できる！
 - 講習会もやってる！

and more...?



施設だけでは「ラーニング・コモンズ」とは言えず、その中で、学習支援が行われること、学習サポートなどの人的支援や学内の学習支援機関との連携が重要な要素となる。

7

ラーニング・コモンズとは

- 文部科学省（2010）⁽¹⁾
 - 複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。
- 大学図書館は何をしたらいいのか～求められる機能とは？
 - 大学の教育・研究にいかに関与するか
 - 大学の教育がどこに向かっているか
 - 学士課程のパラダイムシフト→教育より学習を重視
 - ラーニング・コモンズは図書館が大学教育に関わる装置

アクティブ
ラーニングを
促進！

学びの「場」となるために

- さあ、場所は用意しました
- 後は学生のみなさんが来てくれるのを待っています。

場所がある ≠ 場がある

- 「場」となるためには、
 - 理念
 - 仕組み
 - そういう「場」だと認知され、使われること が必要

仕掛けとしての
「学生協働」！

8

徳島大学の学生協働

- ・ライブラリー・ワークショップ
- ・阿波ビブリオバトルサポーター
- ・学びサポート企画部



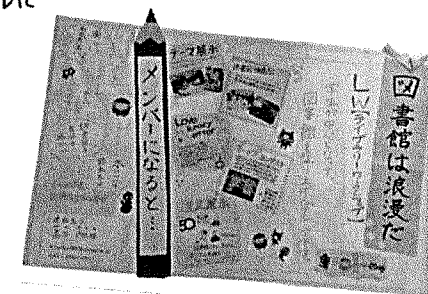
9

ライブラリー・ワークショップ

- 学生・教員・図書館職員による図書館サポートグループ。主に読書推進を中心に活動
- 図書館で策定した設置申し合わせにより、2010.11に発足した無償のボランティアグループ
- 2015年、大学公認の文科系サークルに

- 活動内容
 - ポップコンテスト
 - 読書会
 - Love Library Letter (LLL) という手書き新聞を発行

→図書館ホームページでも公開中



<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/pub/libws/lovelibraryletter/index.html>

10

阿波ビブリオバトルサポーター

- 徳島でのビブリオバトル普及を目指して、徳島大学の学生・教職員を中心に、無償のボランティアグループとして2013.3発足
- 2014年、大学公認サークルとして「サポート系団体」が設置されたことに伴い、サークル化
- 2013.6.23 徳島初の公募によるビブリオバトル開催
 - 徳島県立文学書道館で開催
 - バトラー15名、参加者約90名
- 「ビブリオバトル首都決戦2013」徳島・香川ブロック地区決戦を主催
- 以後、毎年「全国大学ビブリオバトル」の地区予選、決戦を主催
- 市立図書館での開催、授業との連携も
- 公式ブログ <http://awabiblio.blogspot.jp/>



11

学びサポート企画部

- 大学生の学習支援を行うことを目的に、2013.3、繋ぎCreate※の一部門「SSS企画チーム」として発足。その後、独立して「学びサポート企画部」と改称
- 2014年、大学公認サークルとして「サポート系団体」が設置されたことに伴い、サークル化
- 図書館に設置されたStudy Support Space（以下、SSS）を運営している

※繋ぎcreateとは

- 繋ぎcreateとは、徳島大学内でピア・サポート活動を行う学生・教職員によって構成された自主的なチームとして発足。現在は、繋ぎcreateも「ピアサポート系団体」としてサークル化している

12

Study Support Space (SSS) とは

■ SSSとは

- 教員・大学院生が、図書館1階ピア・サポートルームで学習支援を行う企画
- <http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/support/sss/index.html>
- 学生のアドバイザーは、2014年度から「学習支援アドバイザー」として有償化

人的学習支援ができる
ようになった！

SSS学習支援内容・アドバイザー

時間帯	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday
15:00	レポートの書き方・化学	数学・電気電子	レポートの書き方・物理	数学・電気電子
16:00	南川 慶二 先生	仲尾 直樹 さん	井戸 隆治 先生	岡田 龍典 さん
17:00	数学	文系・理系・医学部	数学・その他	文系・理系・医学部
18:00	大沼 正樹 先生	星野 凌 さん	小山 隆之 先生	星野 凌 さん
19:00	物理学	化学・生物・環境	化学・生物・環境	化学・生物・環境
20:00	所沢 隆仁 先生	井上 紀正 さん	小川 年雄 さん	井上 紀正 さん
21:00	数学	生物・環境・化学	レポートの書き方・英語	レポートの書き方・英語
22:00	大沼 正樹 先生	佐藤 高樹 先生	佐藤 高樹 先生	佐藤 高樹 先生

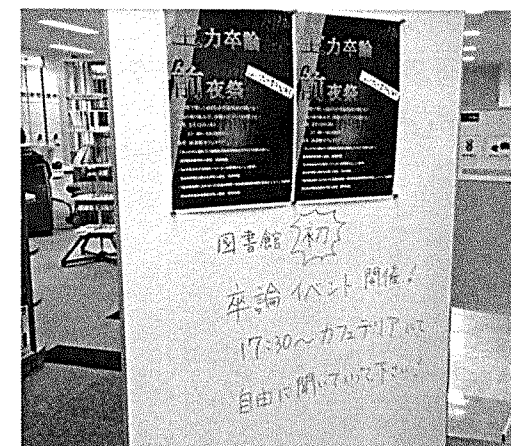
授業の内容が難しい？ そんなあなたのためのSSS
ピア・サポートルーム（1階）の勉強会です。SSSを利用する場合は、以下のいずれかの方法で事前の予約をお願いします。

気軽に質問に来てくださいね！！

Study Support Space 学びサポート企画部

事例： 全力で協働してみた～「全力卒論前夜祭」

- ・全力卒論前夜祭
- ～マジでプレする12時間前～
- ・学生への影響
- ・職員への影響



「全力卒論前夜祭～マジでプレする12時間前～」

- 2014年2月12日（水）17：30～19：30開催
- 繋ぎCreate関係の4年生有志による企画
- ゼミの卒論発表会の前に、図書館で発表。しかも、本当の発表会では話せない裏話や本音もトーク
- 発表者は4名。分野は、**栄養学科**、**言語学**、**哲学**、**地理**
- 参加者は25名（司会者、参加者含む）
- 企画から2週間で実施

「全力卒論前夜祭」は何故、企画されたか

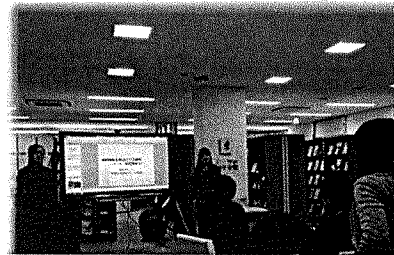
- 開催後寄稿してくれた「メルマガすだち No.110」より（4）
 - 自分にとっての卒業論文にかけた思いと、自分自身の学びを、学部学科や学年を超えた人たちの間で共有する場として（中略）企画しました。…（中略）勉強することの有意義さをもっともっと多くの学生と共有したい！それもできるだけ早く！
 - 卒業論文の完成をまず最初に図書館職員の佐々木さんに報告しました。解放感と達成感からの勢いそのままに、このような思いをたくさん話しているうちに、気が付いたらこのイベントが企画されていたみたいです（笑）

企画者の思いに
職員が共鳴！

学生への影響

- 学部，学科を超えた参加 → 興味喚起
- 卒論に対するイメージが湧いた → 不安解消
- やる気が上がった
- 「来年もやった方がいいですか？」という質問に対し，「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答あわせて100%！
 - 学びサポート企画部が「全力卒論発表会」として継承
- まとめ動画もつくってくれました

<http://youtu.be/IzBuXgDfrQU>



「好き」な学びを見つけられていますか？

～本当のアクティブ・ラーニング私見

- ・学生の「学び」の動機
- ・図書館ができる支援とは
- ・本当のアクティブ・ラーニングを目指して



2015.6.23 先生のコバナシ 其の三
(企画：学びサポート企画部 場所：図書館1階ラーニング・コモンズ)

職員への影響

- やる気の学生の勢いはすごい
- 学びたい学生はけっこういる
- 学び方に不安がある学生もけっこういる
- 学生とつながると，職員だけではできないことができる
- 短い期間でも実施できるという自信
- 少しずつ実績を積み上げることで，実施のハードルは下がる
- 学部・学科に関係なく使える「図書館」は，**出会いの場として最適**



実感！

図書館で観察した，学生が大学で「学ぶ」理由

1. 好きだから

- こういう学生は少ない・・・？
- 「好き」なのは動機として強い。何より優先！
- 継続する
- さらに高みを目指す

2. 「やらなきゃいけない」から

- こちらが多そう
- 「学び」＝受験勉強＝楽しくない！と思っている？
- 他に必要な用事ができると，やらなくなってしまう
- 課題ができれば「終了」

「好き！」「楽しい！」「やりがいがある！」への
転換が必要なのでは？

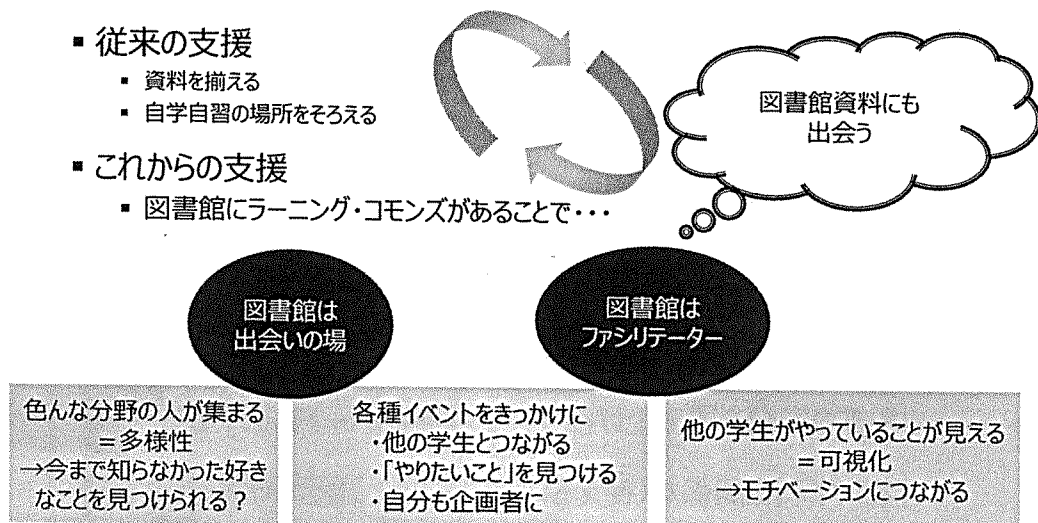
図書館でできる支援とは

■従来の支援

- 資料を揃える
- 自学自習の場所をそろえる

■これからの支援

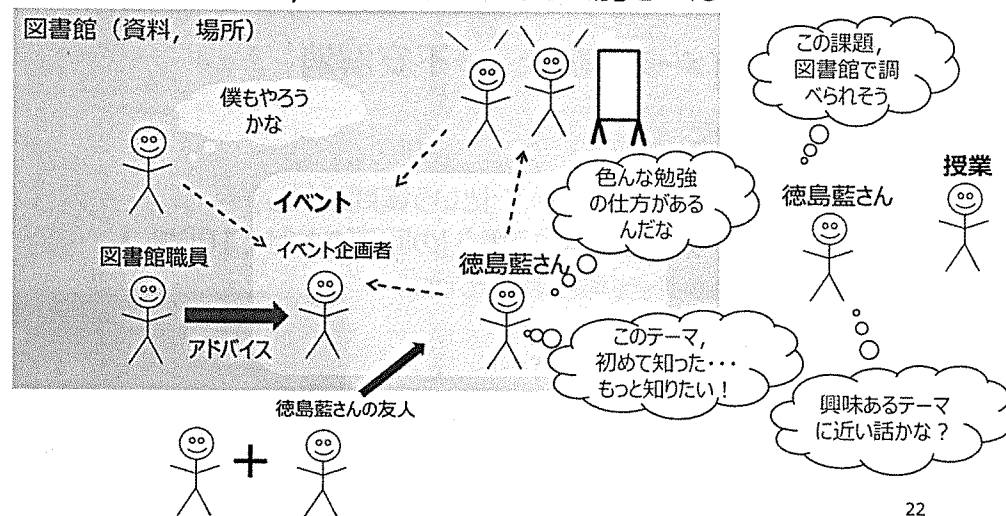
- 図書館にラーニング・コモンズがあることで...



21

本当のアクティブ・ラーニングを目指して

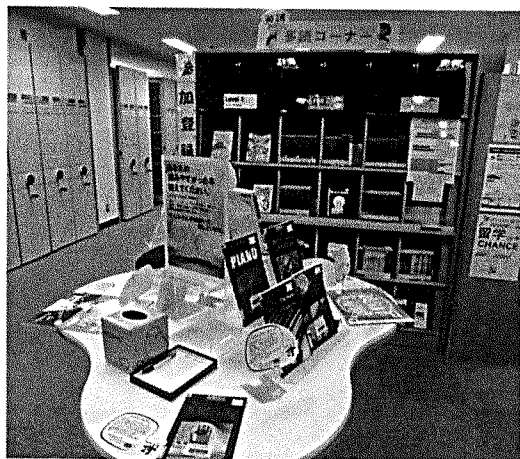
自ら学びたいなる、学びを深めたいなる「場」をつくる



22

ラーニング・コモンズをハコモノにしないために

・経験から得た気づき



多読コーナー(2016.11 1階ホールに設置)

23

ラーニング・コモンズを“ハコモノ”にしないために (1)

■ウェルカムな雰囲気

- いつも図書館は学生の企画をやっている、という安心感
- 規則とかはおいといて、まずあなたの話を聞きたい、という姿勢

■ナナメの関係(5)

- 直接成績をつけない「大人」だからこそ、アドバイスできることがある
- 気軽に聞いてもらえれば、聞くべき人に繋げることができる
- 学生から学ぶこと、知ることたくさんある

24

ラーニング・コモンズを“ハコモノ”にしないために（2）

- 図書館だけでがんばらない
 - 授業とつながることで、図書館サービスにリーチ出来る人が増える
 - 学生、教職員とつながることで、「やるべきことは何か」が見えてくる
 - お互いに足りないことをサポートできる
- 大きな目的を見据えて
 - 目の前の数値目標にとらわれすぎない
- プロフェッショナルであること
 - 図書館の資料やサービスを熟知しておかないと、連携しても役に立たない。場所だけでなく他にもある！
 - アクティブ・ラーニングが進むほど、自習が大事になる。資料の充実が要。
＝ 図書館の本分！
 - プロフェッショナル＝他の人の時間を節約してあげられる人。事務の知識でさくっと問題解決出来るように

25

悩める図書館職員（1）

- 図書館のイメージは
 - 何故、図書館でやるの？という、質問が常にある
 - 図書館は「静かに勉強する場所」という既成概念をいかに払拭するか
 - 図書館内部での温度差

• 大学図書館に何が求められているのか、
という理念の共有
• 大学はどんな学生を育てたいのか

- 人材の問題
 - 学生協働、授業への参加などを想定した人材育成をしていない
 - どこまで教育に携わるのか、手探り中
 - そもそも、図書館職員は減少傾向にある
 - 図書館内の他の課題との兼ね合い

27

悩める図書館職員

- ・ 図書館のイメージは
- ・ 人材の問題
- ・ モデル化
- ・ 原点に立ちかえる



2017.4.25 文系のレポートの書き方講座
(企画：学びサポート企画部 場所：図書館3階多目的ホール)

26

悩める図書館職員（2）

- モデル化
 - 少ない人員で、効果を最大にする方法や枠組みを確立したい
 - 図書館内外で納得される枠組み作りが必要
 - 学生協働で何を評価するか
→ 学生の成長・・・では評価しがたい

属人的な仕事に
しないためにも・・・

■ 原点に立ち返る

- ニーズは変わる。状況も変わる。
- 「本当にそれは、必要か？」「誰のために、何のためにやるのか？」という不断の問いかけが必要
- たとえ、モデル化をしたとしても。

「学びのサポート」の最適解を
探し続けたい。
できるだけ、楽しい方向で！

28

参考文献

- (1) 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会
「大学図書館の整備について（審議のまとめ）ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」
2010.12
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm（参照 2014-1-10）
- (2) 徳島大学附属図書館報告メールマガジンすだち「徳島大学附属図書館本館1階が「ラーニング・コモンズ」に生まれ変わりました！」
No.84, 2012.01.20,
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/back/084/index.html>
（参照 2017-7-31）
- (3) 徳島大学附属図書館報告メールマガジンすだち「1階ラーニング・コモンズが変わりました」
No.120, 2015.1.20,
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/back/120/index.html>（参照 2017-7-31）
- (4) 徳島大学附属図書館報告メールマガジンすだち「「全力卒論前夜祭」を終えて」
No.110, 2014.3.18,
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/back/110/110-10.html>（参照 2017-7-31）
- (5) 豊嶋秋彦「教員養成学からみた不登校生のサポートと「斜めの関係」：対人専門職の社会化研究の実戦的理論的意味」弘前大学教育学部紀要. 教員養成学特集号. 27-42. 2004